

## 北京サマーセミナー体験談

私が北京サマーセミナーへの参加を決めたのは、やってみたかったからです。中国語は第二外国語のスタンダードコースで1年間勉強した程度でしたが、構内に貼り出されたポスターを見て、直感で挑戦を決めました。両親が大賛成してくれたのも、参加の後押しになったと思います。

北京師範大学での生活は非常に楽しかったです。とにかく毎日新しいことばかりで、授業以外の時間も勉強になることばかりでした。日本人同士でも日本語は禁止で、授業は主に中国語と英語で進んでいました。日本での授業は受け身になりがちで、授業中に発言することなどめったになかった私ですが、北京では積極的に手を挙げて発言するようにしていました。中国留学中はずっと電子辞書と小さなノートを持ち歩いていました。会話の中でわからなかった単語はその場ですぐ調べて、ノートにメモして、すきま時間に見直していました。楽しいだけでなく、何か話しかけられたときに、言葉が聞き取れなかったり、思うように言葉が出てこなかったりして、悔しい思いも何度もしました。留学に行きさえすれば言語が上達するわけではありません。受動的な耳からの情報だけで言語を習得できるのは、赤ちゃんだけだそうです。何か新しいことを学ぶためには積極性が必要だと学びました。

北京は想像以上に都会で、人も多くて活気あふれる街でした。また、食べ物はどれもおいしかったです。平日は3食学食で食べていましたが、何を食べても安くておいしいので全く飽きることがなかったです。お菓子やアイスも目新しいものばかりで、私は1ヶ月で3キロ太ってしまいました。この留学で唯一の後悔です。

平日は毎日授業を受け、土日は先生にいろいろな所へ連れて行って頂きました。お寺は日本のものより広くて色鮮やかで、熱心にお祈りをする若い人が多かったのが印象的でした。その時、もらったお線香を入れたくて、私が友達に‘你有袋子吗？’（袋を持っていますか）と聞いていた所、知らないおじいさんが‘我有！’（もってるよ）と袋をくれました。おじいさんの親切も嬉しかったです、それ以上に自分の言葉が通じたのが嬉しかったです。

北京サマーセミナーに参加するか迷っている人は、その原因が自分の語学レベルでついていけるか心配であることなら、参加してみることをお勧めします。学習に対して積極的になれば、言語に限らず、学べることは本当に多いと思います。私にとって、非常に有意義な1ヶ月になったので、ぜひ挑戦してみてください。

最後になりますが、引率して下さった真水先生、干野先生、留学交流推進課の皆様、そして両親には感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有難うございました。

●滞在中に訪れたお寺

